



4月です！お天気が良いと、ポーポキは外で遊ぶのが大好きです！
なにかを追っかけたり、ただたんに静かに座ったりします。
あなたは、良い天気を外で楽しむときに何をしますか？

Popoki's Hot News!



Coming soon!

灘チャレンジ 2019

2019年6月30日 @ 都賀川公園
楽しい一日を一緒にすごしませんか？



「一言の平和」コーナー

ポーポキのお友だちの Agnes にゃんは、次の「一言の平和」を送ってくれました。「私がキャンプするとき、一番大好きなことは雨が降っている夜中に目を覚ますことです。すごく静かなので、世界中に起きているのは私だけだと感じます。テントに降っている雨の音は、テントの中を居心地良い場所にしてくれるので、とても平和だと思います。」

あなたは今日、どんな「平和」に出会いましたか？

ぜひお聞かせください。

ポーポキのメール [ronniandpopoki \(at\) gmail.com](mailto:ronniandpopoki(at)gmail.com) !

先月のポーポキ通信では、ディニャンとアスタニャンが東北の旅初日について報告してくれました。今回は、なぎさニャンより2日目の報告と感想です。



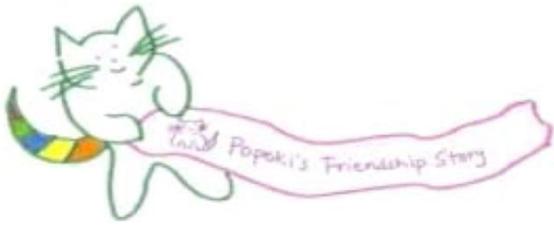
2日目の主な活動は、マストでの展示活動でした。展示活動は朝から行われましたが、午前中に学生のニャンたちは、「おしゃっち」という大槌町のコミュニティセンターを訪問しました。おしゃっちは震災後に新しくできた施設で、図書館や多目的交流室などを構えています。この日は、私たちの活動をずっと支えてくれている元持幸子さんのイベントがありました。私たちが到着した時には、女性たちがお餅を作っていて、とてもいい匂いが漂っていました。その後、参加者と話しながらできたばかりのお餅を頂きました。すると、隣町から来たおじいさん2人によるマジックショーが始まりました。様々なマジックをいとも簡単に見せてくれましたが、仕掛けが全く分かりませんでした。おしゃっちでの時間はゆったりと流れていき、「私の町にもこんな交流場所があったらいいな」と思いました。



その後マストに戻り、展示活動を開始しました。マジックショーをしてくれたお二人は、おしゃっちで遊んでいる人たちに声をかけ、「あなたにとっての平和ってなに？」、「なにがあったら安心して暮らせる？」などの質問をして、彼らがイメージするものを絵に描いてもらいました。家族を描く人、ペットを描く人、中には大好きな日本酒を描く人。「平和」や「安心」は人それぞれであることを改めて感じました。

今年で東日本大震災から8年が経ちました。お絵かきに参加してくれた子どもたちの多くは震災を知らない世代で、阪神淡路大震災の1年後に生まれた私と同じような立場に立っています。特に大槌町は津波で全てが流されてしまい、町全体が新しく変わろうとしています。震災を知らない世代の子どもたちに、以前の大槌町の姿を伝え継いでいくことは、被災者、また犠牲になった人たちが望んでいることではないでしょうか。大槌町の未来を考えるとともに、阪神淡路大震災での経験を風化させないように私たちは何ができるのかを考えさせられた1日となりました。





Popoki's Interview

ポーポキの新しい友達！

江刺由紀子さん（おはなしころりん理事長）へのインタビュー

聞き手：アスタにゃん、なぎさにゃん

英語訳：アスタにゃん

写真提供：おはなしころりん

2019年2月11日に、ポーポキと彼の友だちであるろにゃん、さとにゃん、でいにゃん、らにゃん、なぎさにゃんは、岩手県大船渡市で読書・読み聞かせ活動を行なっているNPO法人「おはなしころりん」を訪問し、ワークショップを開催しました。このワークショップは、参加者と交流し、絵本作りをすることが目的でした。登場人物はポーポキとその友だちたちで、テーマや構成は参加者の想像力に委ねられました。イベントを通して、私たちは理事長である江刺由紀子さんに出会いました。江刺さんはタイから戻ったばかりであったにもかかわらず、私たちのワークショップを手伝って下さいました。また、彼女は私たちの母国語を話してくれたり、「行ったことがあるよ」と教えたりしてくれました。江刺さんは世界のたくさんを知っているように感じ、ポーポキ通信のインタビューを彼女に行うことを決めました。以下は、江刺さんへのインタビュー内容です。



Q.（私たちが訪れた）この施設の設立目的を教えてください。

A. この建物の正式名称は大船渡防災観光交流センターとありますが、みんな「おおふなポート」と呼んでいます。おおふなポートはその名の通り、大船渡市の防災、観光、交流を目的とした施設です。行政の施設ですが、運営は民間機関によって行われています。2階はおはなしころりん、1階は観光物産協会が管理・運営しています。この施設は2018年の春に完成し、2階は6月から運営が開始されました。震災前、現在この施設があった場所には駅がありました。

Q. なぜおはなしころりんはこの建物で活動しているのでしょうか？

A. 交流、イベント、自習スペースなどのソフト事業の実施を市から依頼され、おはなしころりんの2つ目の事務所をここに設置しました。もう1つの事務所は盛駅近くにあります。

Q. どうして江刺さんは団体名を「おはなしころりん」と名付けたのですか？

A. 私たちの団体は15年前に約10人のメンバーによって活動を開始しました。私たちの目的は、子どもたちの読書活動を推進することです。子どもたちが本を好きになれば、良い成長が実現できると考えています。名前に対して大きなこだわりはありませんでしたが、1) 親しみのあるのも、2) 覚えやすいもの、3) 呼びやすいものを前提に考えていました。また、物語や人とのコミュニケーションが"転がる"ように、「おはなしころりん」と名付けました。活動では、私は自分の名前を使わずに、「ころりんさん」と呼んでもらうようにしています。

Q. 活動に対するモチベーションは何ですか？

A. 私は子どもたちの笑顔のためにこの活動を行なっています。子どもたちの成長において大人からの影響はとて大きく、周りの大人のように育ちます。彼らの幸せを守ることは大人の責任です。私は発展途上国を含む様々な国を訪れ、子どもたちが一生懸命に生きている場面に遭遇しました。私はただ、自分が「いいな」と思うことを個人レベルでやっています。読書活動を通して、子どもたちが元気でいられることを支えたいと思っています。活動に対して一生懸命になれる理由はわかりませんが、子どもたちの笑顔を見ることが私のモチベーションなんだと思います。

震災のあと、私たちは仮設住宅に住むシニアたちが子どもに読み聞かせができるように、練習会を行いました。シニアたちは子どもたちの役に立つことが幸せであり、自分たちも元気になることができましたようです。

また、私たちは小学生のお母さんたちにも読み聞かせ練習を始めました。私が読み聞かせをした子どもたちが大人になり、彼らの子どもをおはなしころりんにも連れてくるようになりました。

Q. 震災後、おはなしころりんの活動にはどのような変化がありましたか？

A. 団体設立前、私はインドの大学院で勉強していました。大学院だけでなく孤児院にもよく足を運びました。そこでは、「あげる側」が「偉い」、「もらう側」が「下」というような印象を受け、同じ立場に立つことの必要性を感じました。

日本に帰国した時、ちょうど読書ブームが起こっており、流行りに乗って私たちはNPO活動を開始しました。震災後、私たちは絵本を持って避難所を回りました。当時の子どもたちが欲しかったものは、「読書を通して楽しい時間を共に過ごせる関係」や「心がつながる関係」でした。そのような経験を契機に、読書活動だけでなく交流活動にも焦点を当てるようになりました。なので、今日のおはなしころりんの2本柱として、「読書活動」と「交流活動」を掲げています。

Q. 江刺さんは世界に対してどのようなメッセージを伝えたいですか？

A. 一人一人が大切であることを伝えたいです。なので、一人一人がどうすれば幸せになるのかを考えています。また、「相手を大事に思う気持ち」を常に持って欲しいです。

個人レベルでは、戦争や貧困をなくすことはできません。でも、みんなが相手への思いやりを持つこと、一人一人が変わることで社会全体が変わっていくと信じています。



ポーポキの新しい友達である江刺さんとおはなしころりんについての詳細は <https://www.ohanashikororin.org/about/> をご覧ください。ありがとうございます！



ポーポキちゃんの簡単ポガ教室

Lesson 131

今月のテーマは、足や腰をストレッチ！



1. まず、いつものように、美しく座りましょう。
2. では、あお向けになりましょう。膝をまげて、ゆっくりと床につくまで左側へ動かします。今度は反対側も。ゆっくりと体をゆらすのはいかが？
3. 次は、あお向けのまま、膝を曲げて両足の底を合わせてみましょう。膝は床についていますか？ゆっくりと膝を上下に動かすのも良いですね。
4. 最後は、手で体を支えながら足も腰も床からあげましょう。足をゆっくり横へ開いて、閉じて…。前とうしろも良いですよ！
5. できてもできなくてもがんばりましたね。では、「できたポーズ」をどうぞ！お疲れ様でした。少しリラックスできましたか？毎日、深呼吸・笑・リラックス、そしてポガを最低3分間練習しましょうね。

一緒にいかが？

次回のポー会：5月20日 灘薬剤師会 19:00

4. 29 「ポーポキと一緒に安心、安全そして平和を考える」ワークショップ。チェンマイ YMCA (タイ国)
5. 23-24 「ポーポキと一緒に安心、安全そして平和を考える」講演とワークショップ@台湾・高尾市・高尾科技大学 (予定)
6. 30 灘チャレンジ！ 10:00~16:00 都賀川公園
7. 6 ポーポキ@子どもの里！
8. 5 ポーポキワークショップ@国際理解教育・国際共催セミナー (JICA 関西)

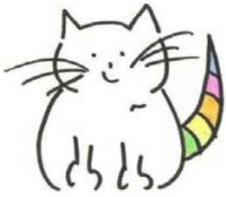
Popoki in Print

ポーポキ通信のバックナンバー：

<http://popoki.cruisejapan.com/archives.html>

- 「ポーポキのミニ平和映画祭」「こくしのみど52」『神戸青年・Kobe YMCA News』No.652 2017.7-8
- ESD Digital Archives, Kansai Council of Organizations for International Exchange <http://www.interpeople.or.jp>
- 関西国際交流団体協議会の「デジタルアーカイブ(WEB版の事例集)にポーポキ！」<http://www.interpeople.or.jp>
- 『平和を考える絵本出版 被災者支援きっかけに』『神戸新聞』（貝原加奈 2014.4.25 28面）
- 「ボランティア 37 団体に助成 大和証券福祉財団」『神戸新聞』（2013.8.23 朝刊 地域経済 8面）
- 「原爆の熱線で焼き付いたー “人影”再現、非核誓う」『神戸新聞』（2013.8.7 朝刊 22面）
- 「被災 秘めた思い描いて」「ひとと抄」『読売新聞』（2013.2.16 夕刊 4面）
- 広岩近広 『安全』『安心』の社会は足元から、ロニー・アレキサンダーインタビュー 『毎日新聞』 2012.10.29（「今、平和を語る」、夕刊、1面）
- R. Alexander. “Remembering Hiroshima: Bio-Politics, Popoki and Sensual Expressions of War.” *International Feminist Journal of Politics*. Vol.14:2:202-222, June 2012
- 「ポーポキと一緒に作り出す平和の根底に9条がある」NO : 66 2012年5月12日[子どもと守る9条の会]
- 「布に希望 60メートル」阿久沢悦子 『朝日新聞』 2012.1.21（兵庫・29面）
- 「平和祈る声まとめ本に」斎藤雅志 『神戸新聞』 2012.1.19（伝える1・17 3・11、22面）
- K. Wada. “Conversations with Ronni Alexander: The Popoki Peace Project; Popoki, What Color is Peae? Popoki, What Color is Friendship?” *International Feminist Journal of Politics* Vol.13, No.2, 2011, 257-263
- S. McLaren. “The Art of Healing” (Popoki Friendship Story Project) *Kansai Scene*. Issue 133, June 2011, p.10. kansaiscene.com
- R. Alexander. (2010) “The Popoki Peace Project: Creating New Spaces for Peace in Demenchonok, E., ed. *Philosophy after Hiroshima*. Cambridge Scholars Publishing, pp.399-418
- 「省窓」『神戸青年』 No.606 2011.1.2 p.1
- No.1 「『ポーポキ、平和って、なに色？』の背後にあるもの」（連載）とさぼりライフ第19号 2010.10:4
- 堀越健志「シリーズ：こくさいのまで⑮(パレスチナについて) 『神戸青年』 No.604 2010.9-10
- 「みんなでやれば、何にかが変わる！」 THE YMCA No.607 June 2010, p.1
- [ヒロシマと世界：被爆地の声 非核と平和、復興と再生、許しと命の尊厳訴え] http://www.hiroshimapeacemedia.jp/mediacenter/article.php?story=20100312140608602_ja
- 2010.3.15 中国新聞 ヒロシマ平和メディアセンター
- FM COCOLO 76.5 ‘Heart Lines’ 2010.1.9 Interview: Ronni on Popoki in Palestine
- “Human Rights, Popoki and Bare Life.” *In Factis Pax Journal of Peace Education and Social Justice* Vol.3, No.1, 2009, pp.46-63 (<http://www.infactispax.org/journal/>)
- 西出郁代 「ポーポキ、平和って、なに色？ロニー・アレキサンダーを迎えて」『PPSEAWA』（日本汎太平洋東南アジア婦人協会）No.63 2009.12, p.5.
- 「友情」第2号 2009.11 伊丹市国際・平和交流協会 年間事業報告 pp.1-2
- 「ともに・・・」No.29 2010.1 家庭と保育所、学校園、地域を結ぶ在日外国人教育情報誌 ポーポキ・ピース・チャンレジ情報 p.12
- 区民情報誌「なだ」2009.12, p.2. ポーポキ・ピース・チャレンジ情報。
- 「『ポーポキ、友情って、なに色？』」「私のいち押し」奥田光子 THE GAIDAI 2009.7.17 No.243（関西外大通信）
- 「友情って・・・考える絵本」朝日新聞「生活」(阿久沢悦子) 2009.7.2
- 「友情を考えて人間と、ねこと、そして自分と～」れ組通信 RST/ALN 2009.6.28 No. 259, p.11
- 「カティング・エッジ」第35号 2009.6（北九州市立男女共同参画センター「ムーブ」）「新刊紹介：『ポーポキ、友情って、なに色？ポーポキのピース・ブック2』(レベッカ・ジェニスン) p.3
- 「猫を通して平和を考える 絵本の第2弾を出版」（斎藤雅志）神戸新聞 2009.4.21
- 「ポーポキ、平和ってなに色？」KOBE YMCA NEWS「神戸青年」2009.3.1 No.593 p.2
- 「ポーポキ、ゴミってなに色？」KOBE YMCA NEWS「神戸青年」2009.1.1 No. 592 p.2
- 「友だちになってくれませんか？」RST/ALN 2009.2.22
- ラジオ番組の中のポーポキ！！プロジェクト・メンバーの宇宙賀佳代子さんがラジオ番組で紹介してくださいました。ぜひお聞きくださいね。 <http://www.kizzna.fm/> 録音番組。(リンクは現在無効)
- やさしいから人なんです展パート20 実行委員会『世界人権宣言』ひょうご部落解放・人権研究所 2008. 10 500円。詳しくは: blrhyg@osk3.3web.ne.jp
- 「KFAW カレッジ ロニー・アレキサンダー氏 講演会」エイジアン・ブリーズ/Asian Breeze No.54 October 2008, p.8 (アジア女性交流・研究フォーラム)
- 「ピースセミナー in 熊本 あなたにとっての「平和」とは？」Kumamoto YMCA News 10; Vol.437 October 2008, p.1
- 神戸新聞「人権宣言 兵庫から発信 全30条 イラストで表現 地元ゆかり 6名がパネル制作」2008.10.8 10





私にとってポーポキ

あいこにゃん

昨年10月に息子みなとにゃんが生まれました。こどもにはたくさんの絵本を読んで豊かな世界観を持って欲しいなと思っています。ポーポキのピース・ブックも読みたい絵本の一つです。物心がついた時から平和について当たり前のようにならぬように考え、表現できる人にならぬように考えているからです。

先日、電車の中でみなとにゃんと目があつたおばあさんが声をかけてくださりお話をしていました。すると、眠くなつてきたみなとにゃんは泣き出し乗客の迷惑にならぬよう私は慌ててあやしていました。残念ながら冷たい視線を感じる時もありますが、その時はそのおばあさんも一緒にあやしてくださいました。暖かく見守ってくださっている方もいるのだと知り私は救われました。小さい出来事かもしれませんが、とても心が温まる体験をしました。

言葉を話せない赤ちゃんにとって泣くことはとても大切なことです。しかし、赤ちゃんが泣くと苦情が入るから家の窓を全て閉じる人もいると聞いたことがあります。多くのお母さんたちは、赤ちゃんの機嫌を伺いながら買い物に行ったり公共交通機関を利用したりしています。それでも、赤ちゃんは泣きたい時に泣きます。赤ちゃんの泣き声が気になる人もいれば、赤ちゃんが泣くことで焦り、窮屈に思つてしまう母親もいます。これは平和なのでしょうか？きっと、ポーポキがいたら泣いている赤ちゃんに優しく声をかけてくれると思います。私も息子と一緒にポーポキのような人になりたいなと改めて思いました。



ご協力お願いいたします！



ポーポキ・ピース・プロジェクトは、『ポーポキ、平和って、なに色？ポーポキのピース・ブック1』（エピック、2007年）、『ポーポキ、友情って、なに色？ポーポキのピース・ブック2』（エピック、2009年）、『ポーポキ、元気って、なに色？ポーポキのピース・ブック3』を題材に、全身で平和の意味を探り、一人ひとりの「発見」を平和の創造に役立てようとする小さな平和活動団体です。また、2011年に起こった東日本大震災をきっかけに活動しており、『ポーポキ友情物語 東日本大震災で生まれた私たちの平和の旅』という本を2012年1月に発行しました。2006年に設立されて以来、日本国内外で幅広く平和のためのワークショップなどの開催を続けてきました。活動の資金はすべて本の売上や寄付によって行っています。

これからも平和を考えるためのピース・ワークショップ、読み聞かせ、ピースキャンプ参加、ポーポキのピース・ブックの翻訳（『ピース・ブック1』は既に10か国語に翻訳されている）、『ポーポキのピース・ブック3』の執筆などの活動を中心に活動を続ける予定です。定期例会「ポー会」を月に一度のペースで開催しています。一緒に活動なさいたい方はぜひご参加ください。（ポー会の開催については、ポーポキ通信の「一緒にどうぞ」の欄をご参照されたい。）

また、こういった活動に対してのご協力、ご支援をぜひお願いしたいと存じます。本の購入・寄付・本についてのコメント、感想、注文などについては、popokipeace@gmail.com へお問い合わせください。

なお、本についての問い合わせや注文は、お近くの書店、アマゾン、あるいはエピック（TEL: 078-241-7561・FAX: 078-241-1918）へどうぞ。

ポーポキ・ピース・プロジェクト [popokipeace\(at\)gmail.com](mailto:popokipeace(at)gmail.com)



<http://popoki.cruisejapan.com>

郵便振替口座番号 00920-4-280350

ゆうちょ銀行 店番099 店名099店 当座 口座番号0280350

口座名 ポーポキ・ピース・プロジェクト神戸

ポーポキ平和募金は一口 1500 円 何口でも結構です。



THANK YOU FROM POPOKI!